

町のシンボルとして住民が維持管理。花見の時期はボンボリがともされ、春の夜の風物詩となっている。



喜連川町は栃木県中部に位置し、町域内には喜連川丘陵に属する標高二〇〇メートル前後の丘陵性山地が広く分

布している。喜連川は、中世以来街道沿いの集落を中心に発達した古い街で、奥州街道

の宿駅としても栄えた。明治以後は国道、鉄道からはずれたため今も街中には武家屋敷などが残り、旧藩時代を偲ばせている。

町道サクラ並木線は、町の表玄関に当り、古くから「新道のさくら」の通称で親しまれている町民のシンボルであり、地域の道路愛護会をはじめ、中学生、老人会等により、下草刈り、空カン・空ビンの収集、枯枝打ち作業などが行われているほか、開花の時期には商工会青年部の手により並木全体にボンボリがともされ、春の夜の風物詩となっている。

さらに、この名所を町全体の誇りとして末永く保持できるよう、地域住民の手で若木の植栽などの手入れが行われている。

データボード⑥

- ① 栃木県喜連川町
- ② 喜連川町役場 ☎0286-86-3111
- ③ 延長800m、幅員20~25m
- ④ サクラ並木
- ⑤ さくらまつり